

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh.kouheifora

皆さん、こんにちは。先週の金曜日(十八日)から、いよいよ第一五五回臨時国会がスタートしました。約二か月間の論戦になります。気合を入れて頑張りましょう。

争点は経済問題!

さて、皆さんのご記憶に新しいことと思いますが、七月末に終了した第一五四回通常国会では個人情報保護法や有事法制が議論されました。しかし、政府が国会に提出した法律の内容が不十分であったことから、結局、成立しませんでした。このことは、以前のかかわら版でもお伝えしました。そこで、当初は、秋の国会で個人情報保護法や有事法制が再び議論されると見込まれていました。ところが、ご承知のとおり、経済状況、とりわけ株価の状況が思わしくありません。個人情報保護法や有事法制を議論している場合ではなく、なりませんでした。したがって、今国会は不良債権問題などを議論する「経済国会」となります。

不良債権問題って何?

ここ数年、不良債権問題が新聞やテレビをずっと賑わしています。不良債権問題、不良債権問題・・・と耳にタコができるほど聞いていらつしやることと思いませんが、不良債権問題って何でしょうか?改めて整理してみましよう。

不良債権とは、銀行が企業や個人に融資している貸出債権のうち「もう銀行に返ってこないかもしれない」という貸出債権のことを指します。この不良債権があまりに多いことが、今、問題になってきているのです。バブルが崩壊した九〇年代前半から数年間は、貸出の担保となっていた株や土地の値下がりによって不良債権発生が主な原因でした。しかし、九〇年代終盤からここ数年間は、不良債権発生が主な原因は、不景気やデフレに伴う企業の業績不振に変わりました。

景気対策か?不良債権処理か?

そこで、最近では「不景気やデフレを何とかしないと、不良債権問題など解決しない」と主張する人が増えていきます。そういう主張の人達は、「不良債権処理を優先する竹中大臣は、政策の順番が間違っている」と怒っています。怒っている皆さん、そして不良債権処理を急ぐ竹中さん、実はどちらの主張にも一理あります。

この問題の難しさは、①不景気やデフレはそう簡単(≠短期間)には解決しない、しかし、その一方で②いつまでも不良債権を処理しないと銀行が潰れる不安を解消できないという構図になっている点です。

したがって、「景気対策を行いながら、不良債権処理も行う」

という両腕みの対応が唯一の選択です。しかし、政府の景気対策がなかなか効果を発揮していません。なぜでしょうか。それは、以前のかかわら版でもお伝えしたとおり、景気対策の時限である皆さんの税金を、政府が正しい使い方(≠皆さんが「景気がよくなる、将来不安が小さくなる」と感じられるように使い方を)をしていないからです。まったく困ったものです。袋小路です。

無責任ですよ、小泉さん!!

日本経済を袋小路に追い込んだ人達(例えば、過去十数年、常に経済政策に関わってきた宮沢元総理や高級官僚)が、責任もとらずに悠々自適の生活をしているのはちよつとどうかと思います。

そして、現在の最高責任者の小泉さん、不良債権問題も経済政策も、竹中さんや民間のオプザーバーに任せきりという感じですか。もう少し、自分の頭で考え、自分の言葉で語って頂くことが必要です。「任せた」と言うだけの総理大臣なら、誰でもできます。無責任ですよ、小泉さん!!

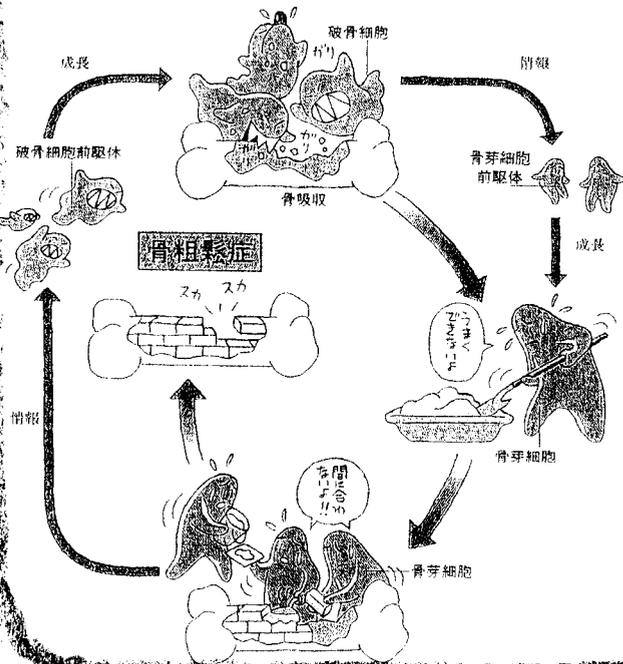
この問題、国会でしっかり議論させて頂きます。

はちや院長の 「コソショウショウ講座」 その2

★骨の代謝

骨は一見何も変化していないように見えますが、実は破骨細胞により骨が壊される骨呼吸と、骨芽細胞により新しい骨がつくられる骨形成という**活発な新陳代謝(骨代謝)**を繰り返しています。

正常な骨代謝ではこれらのバランスがとれていて、骨がもろくなる事はありません。しかし体が老化したり、カルシウム摂取量が不足すると、骨代謝のバランスが崩れ、骨吸収が骨形成の量を上回ってしまいます。そして骨が**カスカス**になってもろくなり**骨粗鬆症**となります。



次号は、「あなたの骨粗鬆症度チェック」についてお知らせします。

「骨粗鬆症」について、お悩み、ご質問がある方は、はちや整形外科までお尋ね下さい。

はちや整形外科病院
院長：蜂谷裕道
〒464-0821 千種区末盛通2-4
TEL 052-751-8188



パトンは2本折れるではありません。
テラ村築、豊田村築、財政再建、
それ不正体質の過程です。でも、
経済以外のものはありますね。
北朝鮮問題、行方不明...
国会をいって、顔を見ます!!!



Ohtsuka Kouhei